



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 プロシップ  
コード番号 3763 URL <http://www.proship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川久保 真由美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 馬庭 興平

TEL 03-5805-6121

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	814	12.9	220	50.4	222	50.0	143	53.9
27年3月期第1四半期	721	△4.3	146	82.2	148	80.6	92	105.1

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 144百万円 (54.0%) 27年3月期第1四半期 93百万円 (105.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	38.49	37.79
27年3月期第1四半期	25.35	25.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	7,287		5,920			80.6
27年3月期	7,232		6,069			83.3

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 5,874百万円 27年3月期 6,021百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		0.00	—	70.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成27年3月期期末配当金の内訳 普通配当70円00銭 記念配当10円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	3,800	8.1	1,175	0.2	1,185	0.3	747	0.0

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	3,757,000 株	27年3月期	3,757,000 株
28年3月期1Q	38,970 株	27年3月期	42,470 株
28年3月期1Q	3,715,959 株	27年3月期1Q	3,664,885 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
4. 補足情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や好調な株式市場等により、企業の収益改善や雇用情勢が回復する等、日本国内の景気は緩やかに回復しております。一方で、ギリシャ政府の債務問題、中国経済の伸び率鈍化への懸念等、海外の景気は下振れするリスクが高まっております。

情報サービス産業におきましては、企業のIT投資は検討期間が長期化しているものの、企業収益の改善や既存システムの老朽化等からIT投資に前向きに取り組む企業は増加しており、企業の経営管理、業務改善に直結するシステムへのニーズは力強さを増しております。

このような状況下で当社グループは、主力の固定資産ソリューションにおいて、様々な業種への豊富な導入実績を活かした新規ユーザーへの提案、既存ユーザーの追加案件獲得等を推進していくとともに、販売管理ソリューションを収益の柱とすべく、固定資産ソリューション導入で培った優良顧客基盤を活かし、積極的な提案活動等を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高814百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益220百万円(同50.4%増)、経常利益222百万円(同50.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益143百万円(同53.9%増)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### ①パッケージソリューション事業

主力の固定資産ソリューションにおいて、新規ユーザーの獲得及び既存ユーザーへの追加提案を行い、販売管理ソリューションにおいては、当社の優良顧客基盤を活かした積極的な提案活動等を行ってまいりました。また、開発工程の効率化を進め、生産性の改善に努めてまいりました。この結果、売上高は766百万円(前年同期比16.8%増)、営業利益は210百万円(同65.0%増)となりました。

#### ②その他事業

その他事業におきましては、既存顧客のシステム投資動向の影響を受け、売上高は減少しております。この結果、売上高は48百万円(前年同期比26.5%減)、営業利益は9百万円(同49.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結累計期間末における流動資産は6,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。これは主に前連結会計年度末の売掛金が回収されたこと等から、売掛金が435百万円減少したものの、現金及び預金が468百万円増加したことによるものであります。固定資産は476百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。

この結果、総資産は7,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結累計期間末における流動負債は1,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円増加いたしました。これは主に買掛金が11百万円、未払法人税等が161百万円減少したものの、パッケージ保守に伴う前受金増加等によりその他が384百万円増加したことによるものであります。また固定負債は218百万円となりました。

この結果、負債合計は1,367百万円となり、前連結会計年度末に比べ203百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産合計は、5,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ148百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は80.6%(前連結会計年度末は83.3%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、企業収益の改善等による積極的なITシステム投資が続くと予想され、また企業の海外進出に伴うグローバル対応やIFRS(国際会計基準)対応を機会とするシステム刷新等による受注を見込んでおります。

以上のことから、平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,745,425	6,214,316
売掛金	762,808	327,051
有価証券	100,000	100,000
仕掛品	79,417	75,981
貯蔵品	954	694
その他	77,025	93,278
流動資産合計	6,765,631	6,811,321
固定資産		
有形固定資産	23,191	21,050
無形固定資産		
ソフトウェア	146,359	157,805
その他	2,614	2,614
無形固定資産合計	148,974	160,420
投資その他の資産	294,858	294,864
固定資産合計	467,024	476,334
資産合計	7,232,656	7,287,656
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	96,078	84,401
未払法人税等	244,013	82,806
賞与引当金	58,700	61,042
役員賞与引当金	17,900	8,748
受注損失引当金	459	63
その他	527,408	911,543
流動負債合計	944,559	1,148,605
固定負債		
役員退職慰労引当金	109,600	109,600
退職給付に係る負債	109,073	108,840
固定負債合計	218,674	218,441
負債合計	1,163,233	1,367,047

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	431,125	431,125
資本剰余金	475,054	478,131
利益剰余金	5,156,320	5,001,792
自己株式	△39,516	△36,261
株主資本合計	6,022,983	5,874,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,264	30
その他の包括利益累計額合計	△1,264	30
新株予約権	47,704	45,791
純資産合計	6,069,422	5,920,609
負債純資産合計	7,232,656	7,287,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	721,475	814,403
売上原価	336,413	334,089
売上総利益	385,062	480,314
販売費及び一般管理費	238,476	259,917
営業利益	146,585	220,396
営業外収益		
受取利息	530	480
その他	949	1,154
営業外収益合計	1,480	1,635
経常利益	148,065	222,031
特別利益		
新株予約権戻入益	432	949
保険解約返戻金	2,935	1,612
主要株主株式短期売買利益返還益	1,643	—
特別利益合計	5,010	2,562
税金等調整前四半期純利益	153,076	224,594
法人税等	60,180	81,581
四半期純利益	92,896	143,013
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,896	143,013

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	92,896	143,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	785	1,295
その他の包括利益合計	785	1,295
四半期包括利益	93,681	144,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,681	144,308

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	427,738	△17.3	680,818	△5.6
保守	291,379	△26.0	1,788,329	2.7
受託開発	21,260	△14.3	25,154	△3.9
運用管理等	45,214	30.1	12,613	182.9
合計	785,592	△19.0	2,506,916	0.5

(注) 1. 金額は販売価格によって変わります。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る受注も含んでおります。

4. 運用管理等には商品受注を含んでおります。

②販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	481,779	23.8
保守	284,260	6.6
受託開発	14,020	△56.8
運用管理等	34,343	2.9
合計	814,403	12.9

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. パッケージにはユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る売上も含んでおります。

3. 運用管理等には商品売上を含んでおります。